

SHIGA 環びわ湖 大学SDGsマップ 2022

滋賀のシンボル・琵琶湖をとりまくように立地する14の大学のキャンパス。心を癒やす水辺、緑濃い山々のなかで、いきいきとしたキャンパスライフを学生たちが送っています。環びわ湖大学・地域コンソーシアムに加盟する大学のSDGsの取り組みやイベントについて、マップでご紹介します。

成安造形大学 資源リサイクルワークショップ

未来社会デザイン共創機構 | 8/18

子供向けの「夏休み・資源リサイクル講座」として近江八幡でワークショップを開催。子供たちのゴミについての意識を楽しく高めることを目指し「レジンでつくるおかしな(お菓子な?)キーホルダー」を作ってもらいました。キーホルダーづくりの材料は、子どもたちがそれぞれ持参した食べ終わったお菓子の袋です。普段なら捨ててしまってお菓子の袋がキーホルダーとして生まれ変わりました。身近なゴミの新しい発見や、ゴミとの向き合い方が変わるきっかけとなれば嬉しいです。



12 公式サイト▼
https://bit.ly/3fH6NPA

滋賀短期大学 滋賀県漁業協同組合連合会「湖魚を使った学校給食レシピ集」の制作

生活学科

滋賀県漁業協同組合連合会と本学生活学科の給食経営管理実習にて、滋賀県の「びわ湖の魚を学ぶ学校給食連携促進事業」の一環として『湖魚を使った学校給食レシピ集』を学生たちが制作しました。制作したレシピ集はお子様へ食べやすい工夫しており、滋賀県内の各市町の給食担当者へ湖魚食材に関する栄養成分やレシピ等の情報提供として案内されます。『レシピ集』は滋賀県漁業協同組合連合会ホームページで公開中です。



公式サイト▼
https://bit.ly/3T84VY0

龍谷大学 龍谷大学SDGs宣言 - 仏教SDGsの推進 -

龍谷大学は、「浄土真宗の精神」を建学の精神とする大学として、「仏教SDGs」の理念を掲げて、SDGsの達成に資する取り組みを推進してきました。阿弥陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心、すなわち「摂取不捨」の心と、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念と共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自省と気づきを促す、それが、本学が掲げる「仏教SDGs」です。この「仏教SDGs」という本学独自の視点を踏まえ、学内外の叡智を結集し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを開始しています。その取り組みを具現化するため、龍谷大学では、「龍谷大学SDGs宣言」を発売しました。HPでは、本学における取組体制の他、様々な取組を掲載しています。



公式サイト▼
https://bit.ly/3enb3Dz

立命館大学 立命の家2022

立命の家実行委員会(学生団体)・BKC学生オフィス | 8/22・8/23

「立命の家」は、学術系サークルやプロジェクト団体が日頃の活動の成果を地域に還元する取り組みです。毎年夏休みに開催し、プログラミング体験や工作、科学実験など、小学生の皆さんに楽しんでもらえるような企画を実施しています。2022年度は対面・オンラインの両方で企画を実施し、2日間で175名の小学生が参加しました。



公式サイト▼
https://bit.ly/3fW1GuU

びわこ学院大学 わくわくフェスタ2022

学生支援課

「わくわくフェスタ」は、地域の子供たちに遊びと学び体験の場を提供しているイベントです。子ども学科1、2年生が授業の一環で取り組んでいるもので、学生たちにとっては、大学で学んだ知識や技能を活かす貴重な機会になっています。コロナ禍ですが、今年度も感染防止対策を十分にとり、ワークショップやアトラクションなど7ブースで親子が安心して楽しめる場になりたいと考えています。



3 公式サイト▼
https://bit.ly/3emsioE

一般社団法人 環びわ湖大学・地域コンソーシアム

大学名 ... 加盟校
県市町 ... 加盟自治体



https://kanbiwa.jp

長浜バイオ大学 市民土曜講座

地域連携・産官学連携推進室 | 9/17・10/15・10/22

長浜バイオ大学の特色を活かした公開講座を実施しています。2022年度で5年目となり、年間約300名の地域住民の皆様にご受講いただいております。2022年度は全3回の予定で長浜バイオ大学を会場に実施しています。

びわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業



滋賀文教短期大学 ぶんぶんひろば

子ども学科・学務課
5/18・7/13・8/20・10/5・11/16・12/10・12/14

地域にお住いの乳幼児とその保護者を対象に、「ぶんぶんひろば」を開催しています。学生が考えた遊びや催し等とおして、地域の子供たちとふれあえます。保護者への子育て支援活動、地域貢献の場、そして学生の実践的な学びを深める場として、年8回程度開催しています。新型コロナウイルスの感染対策として、今年度は完全予約制、検温等の実施を徹底して開催しています。



3 公式サイト▼
https://bit.ly/3rDF3y7

滋賀大学 サステナウィーク

地域連携教育推進室

SDGsを探求し、実践する授業プログラム(プロジェクト科目)をコアに、学生と教職員による実行委員会にてSDGs理解をテーマにしたイベントを行います。暮らし続けられる、働き続けられるといった、持続可能な社会づくりに向けた様々な実践企画を、学生主体で地域と連携しながら実施します。



2022. 11.21~ 11.25 開催予定

滋賀県立大学 キャンパスSDGsびわ湖大会2022

地域共生センター

SDGsに取り組んでいる学生、SDGsに関わる団体が活動について報告し、情報共有を図り、ネットワークを広げる交流イベントです。2022年度もびわ湖東北部地域連携協議会との共催で実施し、基調講演をはじめに1週間にわたりSDGsシネマ、ディスカッションなどの学生企画を実施します。



2022. 11.5~ 11.11 開催予定

びわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業

聖泉大学 彦根市消防団機能別分団

総合企画課・地域連携交流センター | 5/22・8/27・1/7

聖泉大学は2019年4月より彦根市消防団機能別分団(学生団員)として、防災訓練や啓発活動に参加しています。今年度、新たに2名の学生が入団し、団員数は11名になりました。今年度参加した彦根市防災訓練では、地域にお住いの方々と協働し避難所設営訓練を行いました。今後も災害に強いまちづくりを目指し、防災活動、防災啓発活動に積極的に参加していきたいと考えています。

びわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業



びわこリハビリテーション専門職大学 いきいき生活プロジェクト ~頭と体のリフレッシュ~

学生支援グループ・総務グループ

加齢による認知機能の維持・改善に向けた頭と身体を使ったコーディネーショントレーニングや運動機能が低下するフレイル予防のための運動機能の維持・改善と栄養指導を地域住民の方へ実施しています。地域在住高齢者の健康維持に関心のある学生がボランティアで事業に参加し、教員と共に体力測定や健康体操等に参加する中で、生活維持のために必要な身体機能とは何かを考えるきっかけとなっています。



公式サイト▶ https://bit.ly/3yp3X8k

授業・研究でのSDGsへの取組

成安造形大学

プロジェクト授業

未来社会デザイン共創機構「近江里山フィールドワーク」



里山における人と自然の関わりについて学びます。里山での暮らしを知るフィールドワークを通して、未来における自然との関わりについても考察します。大津市仰木地区の住民で組織する棚田保全団体の指導のもと、棚田保全活動を行います。また、今森光彦先生が所有する里山にて、里山環境整備など実践を通して、里山に対する理解を深めています。



未来社会デザイン共創機構「ちま吉プロジェクト」

大津には、約400年の歴史を持つ「大津祭」という祭があります。「ちま吉」は大津祭を支えるNPO法人大津祭曳山連盟の公式キャラクターとして2007年に本学学生がデザインしました。それ以降15年間「ちま吉」のキャラクターデザインを使用した告知広報活動を、学生の手で企画・デザイン・制作してきました。アイデアを練り、子どもたちや地域住民に向けた活動を展開しています。



聖泉大学

多文化共生・国際理解教育プロジェクト

人間学部 森研究室

主に彦根市を中心にした湖東地域において、多文化共生や国際理解をテーマとする講座やワークショップ等を実施しています。具体的には地域内の小中高校への出前授業、各種イベントへのボランティア参加などを通じて、地域の多文化共生や異文化理解の推進を目指しています。(彦根市から委託事業を受託)



十人十色プロジェクト 性の多様性を知ってもらおう!

人間学部 准教授 富川 拓

彦根市が令和3年度にパートナーシップ宣誓制度を導入するのに合わせて、周知啓発活動に取り組んできました。意見交流会、FMラジオの番組制作、研修会・公開講座の企画運営、市内企業の実態調査等を聖泉大学と彦根市との協働で行い、ジェンダー平等の実現を目指しています。



帯祝いの会&オレンジリボン運動 in 多賀大社

別科助産専攻



安産祈願に来られた妊婦様とご家族や一般参拝の皆様、子どもの虐待防止啓発運動であるオレンジリボン運動を実施しました。妊婦様やご家族に対しては、腹帯の巻き方をお伝えすると同時に、ご自身の環境での子育ての課題を認識するきっかけづくりとして「育児の認識

チェックシート」を体験してもらいました。その他、参拝に来られていた方々に対しては、赤ちゃん人形の抱っこ体験をしてもらいました。



助産学生によるパパママクラス

別科助産専攻

夫婦で協力しながら妊娠出産・育児をのりこえていけるきっかけづくりを目的に、助産学生によるパパママクラスを開催しました。クラスでは「パパの妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験」「家事・育児見える化シートの記入」「産後のママとパパのうつについて」「パパの沐浴体験」など、楽しくお二人で話し合い、体験できる内容を準備しました。参加された方々は出産後のイメージが付き、これからの育児期を前向きにとらえていただけたようでした。



びわ湖東北部 地域連携協議会

びわ湖東北部地域の大学・短大・自治体・経済産業界等が、SDGsを活用し、力を合わせて地域の課題解決や魅力と活気ある地域社会の創出を目指したプラットフォームです。「産業振興に向けた産官学連携」「地域コミュニティの活性化」「地域を担う次世代人材育成」の3つのワーキンググループを形成し、産官学協働で事業を推進しています。

公式サイト
www.hn-rcc.jp/



協議会5大学

近江でのSDGsの実践

SDGsや地域課題をテーマとし、協議会加盟大学から講師を派遣し滋賀県内の大学生の教育環境の充実を図るための共同科目を開講します。本科目では、SDGsとは何かを学び、17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶことでSDGsへの理解を深めます。また、SDGsでの目標を近江の地で実践していくためにはどのような行動計画を立ててどのように実践していけば良いのかを、グループワークを通してそれぞれが考え、それを皆で共有することで、将来の持続可能な社会の構想実現に寄与するための足がかりを得ることを目標としています。



そのほかのSDGsへの取組

成安造形大学

健康増進キャンペーン 啓発ポスター制作

未来社会デザイン共創機構



滋賀県国民健康保険団体連合会とのコラボ企画で、毎年、学内で「健康増進キャンペーン啓発ポスター」のコンペを実施しています。健康増進月間の期間中、滋賀県内各所で掲出されます。

公式サイト▶ <https://bit.ly/3Mfy9DU>



滋賀県立大学

スチューデントファーム「近江楽座」

地域連携・研究支援課 | 通年実施



地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを大学が支援する教育プログラムです。毎年、学生主体の地域活動を募集し、所定の審査を経て、プロジェクトとして採択されます。学生が地域の課題に地域の方々と一緒に取り組み、その解決を目指しています。

公式サイト▶ <https://bit.ly/36X1sw6>



龍谷大学

環境省との協力連携「地域脱炭素の推進に関する協力協定」を締結 —環境省と滋賀県が主催するシンポジウムでも意見交換に参加—

世界各国が2050年までのカーボンニュートラルの実現をめざすなか、日本は、「2050年に脱炭素社会の実現をめざす」ことを宣言しました。龍谷大学は、創立400周年を迎える2039年を見据えた長期目標の一つとして「社会変革の中核的担い手となる」ことを掲げ、カーボンニュートラルを先導する大学としての決意を国内外に表明するため、2022年1月に「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を発出しました。そして、脱炭素社会や地域循環共生圏の実現に寄与するため、環境省との連携協力体制の構築として、2022年4月25日、「地域脱炭素の推進に関する協力協定」を締結しました。2022年5月7日(土)には、滋賀県庁にて「地域の脱炭素社会の実現に向けた環境省と滋賀県によるシンポジウム」が開催され、第2部:「環境政策にかかる全国行脚(滋賀県)意見交換会(環境省主催パネルディスカッション)」に、地元団体を代表して、龍谷大学から深尾 昌峰 副学長(社会貢献・SDGs担当)が登壇し、龍谷大学の取り組みを紹介しました。



公式サイト▶ <https://bit.ly/3ysW4il>

